

# 大河社長

## 川澄選手 アルビレックス新潟レディース



当社がユニフォームスポンサーとして応援しているアルビレックス新潟レディース(以下、アルビレ)の川澄選手と大河社長の特別対談が実現しました。川澄選手だからその説得力のあるお話をたくさんお聞きすることができました。

### 新潟について

**(大河)**川澄選手はこれまで新潟に縁がなかったと思います。改めて新潟ってどういう土地でしょうか。

**(川澄)**新潟については、人の温かさを感じるのと同時に皆さん謙遜しすぎたなと思いました。「遊ぶところないでしょう」「雪も大変でしょう」とか。でも私はアルビレが街に根付いていて温かいなと感じています。食べ物も美味しいです。茶豆やレクチネ、かきのもちど美味いんですよね。もちろんお米やお酒も美味しいです。温泉の長さも意外と知られていないなと思います。

**(大河)**私も2年半前に当地にきましたが、同感です。新潟のアイメンがこんなにおいしいとは知りませんでした。新潟県全体でもっとアピールをしていってほしいですね。

**(川澄)**私、ほんとはキャプテン向きではないんです。それにアルビレはもととチームのまとまりがありました。私はリーグ戦開始時に監督から指名を受けましたが、その時「そういえばまだ決まっていなかったな」と思うほどまとまりがありました。



川澄「キャプテン向きではないのですが、人にとっても興味があるんです」

**(大河)**その後、その憧れの方と同じ代表チームで活躍するわけですね。

**(川澄)**今でも夢みたくて。まさか同じ代表チームで戦えるとは！さらに同じクラブに来てくれて、この限りがある時間を絶対に無駄にしたくないと毎日練習しています。

**(大河)**大学4年生の時に在学中前守備を断裂し、全治8ヶ月の重傷を負いました。非常に大きな挫折だったと思います。

**(川澄)**手術が必要で、リハビリに8ヶ月かかると言われて、そんなにかかるとは！と思いました。しかし、当時から物事を長い目で見るという性格でしたので、自分のサッカー人生が終わるわけではないし、その先の方が長いので、じゃあ、今日から何をしようかなと考えました。

**(大河)**全ての人がそれぞれに挫折点と失意を経験すると思います。そこから前向きになるためのアドバイスをお願いします。

**(川澄)**起こってしまったことは絶対に変えられないので、それに対してどうするかを考えて行動しています。勝ち負けがあるスポーツを仕事に選んでいるので、ネガティブなことに意味を

持たせられなくなったらプロとしておしまいたなど思っています。良い未来を掴みにいく姿勢、行動は常に心がけています。

**(大河)**大学卒業後、INAC神戸レオネッサに入団しました。2013年の皇后杯の決勝戦はPK戦へ、313で迎えた5人目のキッカー、川澄選手がゴールを決め、皇后杯4連覇と国内4冠を達成しました。その相手は？

**(川澄)**アルビレですね。ごめんなさい、その時は(笑)。

**(大河)**アルビレのサポーターって相手から見るとどうですか？

**(川澄)**いつもうるさくて嫌でした(笑)。でも実は私はその頃からアイシテルニイガタ「を心の中心で歌っていました。それくらいチヤントが素敵で、熱くさせてくれるサポーターをいいなあと思っています。

**(大河)**本当に今でもそうですね。アウェイの試合でも大勢のサポーターがいっぱい出ています。そしてその翌年アメリカへ移籍されました。国内ではやり切った感があったんですか？

**(川澄)**それが全然なかったんです。私は国内でプレーして世界に通用する選手を目指していたので、ところが2013年の春頃、海外でのプレーが直感的にひらめいたので、その気持ちとオーガニアのタイムスナップがぴったり合いました。

**(大河)**さて、ワールドカップと5輪です。これは外せないテーマです。ワールドカップ準決勝のスウェーデン戦、あの美しい30mのロングシュートはボールが来た瞬間に自分で打つと決まっていたんですか？

**(川澄)**あれはすこっかたです。スタンドから人がこぼれ落ちそうなくらい。歓声で味方同士の声も届かないくらいでした。

**(大河)**渡米して女性スポーツ、女性アスリートについて日本との違いをどのように感じられましたか？

**(川澄)**スポーツ文化の根付き方の違いを別しても日本ではまだ女性スポーツに対する偏見があるのは残念ですね。特にサッカーはまだま



大河「日本サッカー協会の理事として、空気を醸さない発言を期待します」

ましたか？

**(川澄)**決めていました。事前の分析でキッカーがミスしたと聞いていたので、でもちょっとトラップをミストたのですが、そのままボールと空気味に無人のゴールがけて打ちました。もう一生できません(笑)。

**(大河)**一生できないといえは、決勝戦の澤選手のゴールもすごいです。なぜあの角度で決まるのかわかりません。

**(川澄)**澤さんで常人ができないことをあいつが大舞台でやっちゃうんです。でもそれにも伏線があつて、コーナーキック前のプレーが止まった時間に皆で打ち合わせして「ニアサイドで行う」と決めていたんです。

**(大河)**なるほど。この2本のゴールは偶然ではなく、事前の周到な準備の賜物ですね。そして翌年はロンドン五輪、決勝の舞台は「サッカーの聖地」ウェンブリーで8万人の大観衆。あまり緊張とか興奮を口にされない川澄選手ですが、いかがでしたか？

**(川澄)**あれはすこっかたです。スタンドから人がこぼれ落ちそうなくらい。歓声で味方同士の声も届かないくらいでした。

**(大河)**渡米して女性スポーツ、女性アスリートについて日本との違いをどのように感じられましたか？

**(川澄)**スポーツ文化の根付き方の違いを別しても日本ではまだ女性スポーツに対する偏見があるのは残念ですね。特にサッカーはまだま

### 女性活躍

**(大河)**2024年、日本サッカー協会JFAの理事に就任されました。ご自身ではどのような役割を期待されていますか、またJFA理事長とは従来からJFAのアスリート委員会と一緒に働いてきたと思います。その席で言いたいことを言っていました(笑)。

**(川澄)**海外に行くことが全てではないですが、考え方の引出しが増えるというが、今までの当たり前がそうではなかった。また反面日本の良さや再認識するという何物にも代えられない経験ができるので、やはりお勸めしたいです。

**(大河)**外の世界と交流して、新しい考えに触れないと人も組織も発展させません。

### これからの活躍について

**(大河)**2024年、日本サッカー協会JFAの理事に就任されました。ご自身ではどのような役割を期待されていますか、またJFA理事長とは従来からJFAのアスリート委員会と一緒に働いてきたと思います。その席で言いたいことを言っていました(笑)。

**(川澄)**海外に行くことが全てではないですが、考え方の引出しが増えるというが、今までの当たり前がそうではなかった。また反面日本の良さや再認識するという何物にも代えられない経験ができるので、やはりお勸めしたいです。

**(大河)**外の世界と交流して、新しい考えに触れないと人も組織も発展させません。

**(大河)**その後チームの全員がアライベイトで遊びに行くなどチームに溶け込む努力をされていますね。

**(川澄)**はい、私は基本的に人に興味があるんです。「この人何を考えているのかな？」の日はどんな感じなのか、という風に、でもそれはチームワークのためにと思ってやっているのでないんです。

**(大河)**その一人に興味がある」とは、組織の運営にはとても大事です。

**川澄選手のサッカー人生**

**(大河)**川澄選手のサッカー人生の原点は澤選手がいらしたと思います。小学校の頃、澤選手の膝の上で撮った写真は宝物だそうですね。

**(川澄)**ジュニアに対する接し方は本当に大切にしています。それこそプロの存在理由になって思うくらい。澤さんのとても優しい対応には今でも感謝しています。

**(大河)**その後、その憧れの方と同じ代表チームで活躍するわけですね。

**(川澄)**今でも夢みたくて。まさか同じ代表チームで戦えるとは！さらに同じクラブに来てくれて、この限りがある時間を絶対に無駄にしたくないと毎日練習しています。

**(大河)**大学4年生の時に在学中前守備を断裂し、全治8ヶ月の重傷を負いました。非常に大きな挫折だったと思います。

**(川澄)**手術が必要で、リハビリに8ヶ月かかると言われて、そんなにかかるとは！と思いました。しかし、当時から物事を長い目で見るという性格でしたので、自分のサッカー人生が終わるわけではないし、その先の方が長いので、じゃあ、今日から何をしようかなと考えました。

**(大河)**全ての人がそれぞれに挫折点と失意を経験すると思います。そこから前向きになるためのアドバイスをお願いします。

**(川澄)**起こってしまったことは絶対に変えられないので、それに対してどうするかを考えて行動しています。勝ち負けがあるスポーツを仕事に選んでいるので、ネガティブなことに意味を



大河「過去のどのような苦難の上に今があるのか、歴史を知ることが大切です」